

委員会	屋代中学校区	議会答弁
議会全体	<p>○トータルバランスとアセスメントの問題について。温泉と自然環境などを活かすため、ITを活用することを前市長に提案した。新しいごみ焼却施設についてアセスメントをよく考えてもらいたい。</p>	<p>○前市長への「デジタル人材を空き家を活用して誘致せよ」との提言は、DXの時代になり先見性のある提言だったと承知している。B焼却施設の建設は広域連合で決め、引受けていただいた屋代5区、6区には一時金2,500万円の交付、毎年2区へ世帯数×1万円を交付していく。環境アセスメントは実施しているが、市の施策のトータルバランスという点では、考える点が多々あると思いますので、市長、行政にしっかり伝えていく。</p>
	<p>○千曲市歴史的風致維持向上計画の中で、「屋代田圃は水田面の地下60～100cmほどに、平安時代の条理水田が888年（仁和4年）の洪水砂に覆われて埋蔵していることが、昭和40年代の調査で確認された。2000年続く湿地帯で、その場所の開発が後世に及ぼす影響をよく研究していただきたい。</p>	<p>○開発を進める根拠は240名の地権者の要望であり、企業からの売り込みもあって関係者で話し合いが進められた。子ども達が千曲市に誇りを持ち、地元に戻り、地元でずっと暮らすため、歴史文化を残すことは我々の責任だ。ご意見は市長や行政ともテーブルにのせて議論していきたい。</p>
	<p>○このまちが発展するためにどういう観点から行政を監視するかという一点に絞り、議長の下に結集していく。議論し、勉強会をし、しっかりした対案や質問事項を作り上げて、市議会全体の問題として行政にぶつけていく。一人で戦わないで、市議会全員で結集して行政を動かして頂きたい。</p>	<p>○議員20名の後ろには多くの支持者がいて、市民の皆様の見解も議会の場で取り上げていくが、言いつ放しではなく、結果が出てはじめて議員の仕事をしたことになる。議会という塊の中で、一つの方向性を持ちながら行政に対していくという仕組みは必要だと思うので、研究させて頂きたい。どんなことが出来るか皆で考えていきたい。</p>
常任委員会 総務文教	<p>○日本一のアんずの里を発展させるためにも、地域住民の生活環境の改善も必要で、「あんずの里観光会館」など大変重要な施設だ。市による継続的な管理をお願いしたい。</p>	<p>○公共施設の再編計画は、避けて通れない大事な計画なので、今後時間をかけて市と（地元で）協議していただきたい。</p>
福祉環境 常任委員会	<p>○「しなのの里ゴールドプラン21」老人福祉計画・介護保険事業計画について、前回の市民と語る会で「訪問マッサージなどの広報や医療機関との連携について行政に伝える。」との回答を（議会だより）掲載していただいたことは有り難い。医療保険を使った鍼灸マッサージの制度が、介護保険制度と連携したサービスとして浸透されていないのではないかと。広報について、一緒に考えていただきたい。</p>	<p>○前回の要望は福祉課に伝え、市でも取り組んで頂いている。ご意見があれば、市民と共に議員も一緒に高齢福祉課に行って要望を伝えさせていただく。</p>
建設経済 常任委員会	<p>○生食用あんずの時期は、全国から問い合わせが集中する。しかし、保存がきかず2週間ほどの短期に、販売所が分からないという多くの声を聴く。西の日本遺産「棚田」と戸倉上山田温泉、東のあんずの里をセットにして発展させていきたい。</p>	<p>○「日本一のアんずの里」は大きな観光資源で、あんず振興にもっと力を入れるべきと考える。伝統的農産物は途絶えさせないことが重要で、後継者・品種改良・販路開拓など市でしっかり支えるべきだ。プレミアムハーコット「杏月」は大変な人気があるが収量がすくないという課題がある。産地の衰退が懸念されており、委員会として検討していく。</p>